

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸
2023 年度 第 4 回 キャリア委員会
議事次第

日 時：2024 年 2 月 8 日（木）メール審議

回答期限：2024 年 2 月 15 日（木）正午

委 員 校：関西学院大学（委員長校）

関西福祉大学（副委員長校）、甲南女子大学（副委員長校）、神戸国際大学（副委員長校）
芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、聖和短期大学、甲南大学
神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学
神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部
園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学
兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

計 25 大学

I. 審議事項

1. 2024 年度キャリア委員会 事業計画・予算（案）について (資料 1)

①県内大学生の地元就職促進プロジェクト

- ・大学連携組織を活用した県内大学生の地元企業促進プロジェクト
- ・「尼崎市」大学生向け職場体験事業

②県内企業・団体等の魅力を情報発信

③留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム

④外国人留学生採用ワンストップ支援事業

標記に関し、中井理事長から各事業委員会に、資料 1-1 のとおり依頼があった。参考資料 1 の理事会からの改善提案ならびに参考資料 2 の事業委員会予算をもとに作成した資料 1-2 の「2024 年度事業計画（鑑）案」と「予算案」について審議。

II. 連絡・調整事項

1. 2023 年度のキャリア委員会開催予定と主な議題について

第 5 回委員会 3 月下旬：2023 年度事業報告・決算（案）

以上

<資料一覧>

資料 1-1：2024 年度事業計画・予算(案)及び 2023 年度事業報告・決算(案)の作成について(依頼)

資料 1-2：2024 年度キャリア委員会 事業計画・予算（案）について

(参考資料 1) 2023 年度 事業委員会 自己評価に対する改善提案

(参考資料 2) 2024 年度 事業委員会事業予算について

(参考資料 3)：2023 年度第 3 回キャリア委員会議事録

2024年1月吉日

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会 委員長 各位

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
理事長 中井 伊都子

2024年度事業計画・予算（案）及び2023年度事業報告・決算（案）
の作成について（依頼）

拝啓 寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当コンソーシアムの活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおりご提出いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、2024年度事業計画の作成にあたっては、2023年度の各事業委員会の自己評価をもとに企画運営委員会及び理事会にて作成した改善提案の内容を踏まえてご検討いただきますようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

敬具

記

- 2024年度事業計画・予算（案）及び2023年度事業報告・決算（案）の作成・提出
 - 2024年度事業計画・予算【鑑】（案）
提出期限：2024年2月19日（月）正午
 - 2024年度事業計画・予算【詳細】（案）
提出期限：2024年5月9日（木）正午
※第6回理事会（1/31）において来年度の各委員会事業に対する予算が承認されました。
委員会事業予算（総額）：600万
 - 2023年度事業報告・決算（案）
提出期限：2024年3月29日（金）正午
- 今後のスケジュール
 - 「2024年度事業計画・予算（案）」
2024年 3月28日 第7回理事会にて審議・決定
2024年 6月（予定） 定時総会にて報告
 - 「2023年度事業報告・決算（案）」
2024年 4月（予定） 2024年度第1回理事会にて審議、定時総会に上程
2024年 6月（予定） 定時総会にて審議・決定

（添付書類）

- 添付1) 2023年度 各事業委員会活動の自己評価に対する改善提案
- 添付2) 2024年度 【記入用】事業計画・予算（案）
- 添付3) 2023年度 【記入用】事業報告・決算（案）

以上

【2024年度 キャリア委員会 事業計画】(案)

委員長校	関西学院大学
副委員長校	関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学
委員校 (全:21校) ※2023年度 登録大学	芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、聖和短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上
取組1	大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施
達成目標	本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上
活動指標	各年参加者数500名以上
取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信
達成目標	情報公開企業・団体数120社以上
活動指標	企業情報の追加掲載 2種類以上
課題	課題④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
取組1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施
達成目標	本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上
活動指標	各年参加者数500名以上

目的

兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する大学間連携組織の特徴を生かして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

課題①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上			
予算額	取組1-1	「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト	4,633,000円 (受託事業収入)
	取組1-2	「尼崎市」大学生等向け職場体験事業	500,000円 (受託事業収入)
	取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信	0円
	課題④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進		
	取組1-1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	1,600,000円
	取組1-2	「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業	6,291,000円 (受託事業収入)

期待される効果

- 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するために、県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深め共に連携する機会を提供することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、大学生の県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することが期待される。
- 地域の活性化のためのUJターン就職の促進と地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。
- 各加盟校単独では実施が困難と思われる、「留学生に特化したインターンシップ」や「合同企業説明会」実施に向けて、持続可能な仕組みづくりが期待される。
- 外国人留学生を企業が受け入れるための体制支援を強化し、外国人留学生採用のためのワンストップ相談窓口をコンソが担うことで、大学、行政、企業が連携した新たなネットワークを構築が期待できる。

【2024年度 キャリア委員会 事業予算】(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算										委員会 予算		
		①取組1-1		①取組1-2		①取組2		④取組1-1		④取組1-2				
		大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト		「尼崎市」大学生等向け職場体験事業		県内企業・団体等の魅力を情報発信		留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム		外国人留学生採用ワンストップ支援事業				
		内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	1,700,000						会費収入	1,600,000			会費収入	100,000	
	助成事業収入	0												
	受託事業収入	11,424,000	兵庫県受託事業	4,633,000	尼崎市受託事業	500,000					兵庫県受託事業	6,291,000		
	プログラム収入	0												
	雑収入	0												
	戻入金	0												
	計	13,124,000		4,633,000		500,000		0		1,600,000		6,291,000		100,000
支出	会議費	0												
	旅費交通費	260,000	打合せ交通費	60,000							打合せ交通費	200,000		
	通信運搬費	270,000	チラシ送付費	30,000	HP作成・チラシ送付費	40,000					チラシ送付費	200,000		
	消耗品費	220,000	消耗品費	100,000							消耗品費	120,000		
	新聞図書費	0												
	印刷製本費	400,000	チラシ等印刷費	100,000	チラシ作成費	30,000					チラシ等印刷費	200,000	資料印刷費	70,000
	光熱水料費	0												
	賃借料	938,000	イベント会場費・PCリース	338,000					イベント会場費・PCリース	300,000	イベント会場費・PCリース	300,000		
	保険料	0												
	謝金	490,000	講師謝金	140,000					講師謝金	250,000	講師謝金	100,000		
	租税公課	50,000	収入印紙	10,000							収入印紙	10,000	講師軽食等	30,000
	支払手数料	20,000	振込手数料	10,000							振込手数料	10,000		
	諸会費	45,000	会費	45,000										
	委託費	1,650,000							HP製作費・業務委託費	650,000	専門家派遣	1,000,000		
	人件費	8,781,000	コーディネーター費	3,800,000	委託費	430,000			委託費	400,000	コーディネーター・相談員費	4,151,000		
雑費	0													
計	13,124,000		4,633,000		500,000		0		1,600,000		6,291,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---

2023年度事業委員会への改善提案について

①国際交流委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	4	4	日本学生支援機構（JASSO）受託事業の5年目、兵庫国際交流会館を学生を中心とした地域の国際交流・留学生支援拠点を築くことはできている。引き続き、日本学生支援機構（JASSO）受託事業の採択を目指し、築いた拠点でコンソの特長を活かし、時代の潮流を鑑み、留学生・学生の成長支援、兵庫県の発展に繋がる事業展開を期待する。また、これまで当事業内でD&I時代の表現力の養成の一環で広報活動を行ってきた企画学生スタッフに、更なる学びのアウトプットの場として、当コンソ全体の広報活動を提供し、より多くの学生、留学生の波及効果を及ぼす表現力・企画力を身に付ける場とすることも期待する。	各年参加者数500名以上	1,163人（2023年10月末時点）	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合： 参加学生の80%以上（期中中2回測定）	95%以上の国際理解
事業報告②	<加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業> ・学生海外派遣プログラム ・模擬国連演習（NMUN（National Model United Nations）） ・事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	3	4	自学の国際交流プログラムをコンソ加盟校へ開放することで、プログラムの参加者の多様性の拡充に貢献している。引き続き、多くの日本人学生・留学生に国際交流の機会を提供し、グローバル社会で活躍する人材の育成に貢献することに加え、兵庫県全体の留学生の入学、就職を促進するようなプログラムの実施も期待する。	プログラム数10件以上/5年間（中長期Ⅱ期）	6件（中長期Ⅱ期5年間通算）		97%以上の国際理解

②学生交流委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	<テーマ型の学生交流プロジェクトの実施> WILL BE プロジェクト・地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動	2	3	地域において、加盟校ならびに行政が有する子育て支援施設や子どもの居場所と連携して、学生が日常生活の延長線上でボランティア活動ができる仕組みができてきていることは評価できる。また、外部資金を活用することで、学生の活動交通費等を手当てし、学生の経済的負担の軽減ができていくことも評価できる。今後は、この取組の認知度を高め、活動が活発化することを期待する。	参加加盟校数10校以上/年	6校	各年参加者数50名以上	9名
事業報告②	<テーマ型の学生交流プロジェクトの実施> WILL BE プロジェクト・ウィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト	3	4	地元企業・協賛企業との連携による本プロジェクトは継続することにより、プログラムの内容も深まり、学生自身の成長や地元企業理解に寄与していることがうかがえる。今後も、地元企業等との連携を図りながら、人材育成プログラムとしての本コンテストを継続することを期待する。		10校		47名
事業報告③	<学生発信ブランディング> 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施	2	3	コンソHP上に「地域で輝く学生」と題して、学生交流事業「WILL BEプロジェクト」の活動PRに加え、各加盟校の特長ある地域活動を通して、コンソーシアム全体の認知度を高める取組は重要である。次年度も引き続き、広報活動の活発化に取り組んで頂きたい。	各加盟校からの情報提供/年1回以上 情報公開数40取組以上/年	2回	情報公開数200取組以上	5取組
事業報告④	<学生発信ブランディング> 大開連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務	2	3	阪神・淡路大震災を経験したコンソーシアムとして、震災を知らない世代の加盟校学生たちが、兵庫県の公式の防災啓発動画を制作することは貴重な機会であり、意義のある活動であったといえる。今度も機会があれば、震災の記憶の継承ならびに、頻発する自然災害に備えることができる学生の育成を期待する。	参加団体1団体以上 個人参加20名以上	18名（1団体含む）	参加加盟校数10校以上/年	7校

③教育連携委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	単位互換事業の実施	3	4	コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、学生の生活様式や従来の対面授業中心の授業形態に戻ってきた影響もある中時代の趨勢とともに、コンソーシアムの単位互換事業に対しても、新たな期待が寄せられると思われる。教育のICT化や共同開講など学生へ多様な学びの機会の提供について引き続き、検討頂きたい。	送り出し校数・5校/年	6校	各年開放科目数10科目以上	開放科目数82科目
事業報告②	多様な学修機会の提供	3	3	継続的な加盟校の教育資源の共有と相互連携の取組として、加盟校の公開講座を広く開放し、多様な学生の交流を促進し、学修経験の強化を引き続き回って頂きたい。また、eラーニングシステムについても、引き続き、加盟校全体に周知を行い、加盟校全体のICTを活用した教育資源の向上の相乗効果を行って頂きたい。	参加者数50名以上/年	934名	各年プログラム数5件以上	17件

④キャリア委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト	3	4	意見交換会では大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供することで、現在の地域ニーズ等を共有し、現状を踏まえたキャリア支援を学生に行うことで、学生の県内企業理解促進に繋がっていることは評価できる。また、学生においては、県内企業の経営者や若手社員との交流会により、県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することを期待している。 対象者（教職員・学生）のニーズ等を検証のうえ、来年度の事業委託に向けて準備を進めて頂きたい。	各年参加者数500名以上 （学生：450名以上 教職員：50名以上）	学生：87名・教職員：57名 （2023年11月末時点） ※年度末までに目標達成見込み	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合： 参加学生の70%以上	兵庫県内企業理解が深まった： 参加学生の88.9%
事業報告②	県内企業・団体等の魅力を情報発信	3	4	掲載企業数は目標を上回って達成している。留学生の採用情報に加えて、今年度は情報の充実を図るため「ミモザ企業」「地域未来牽引企業」など学生が就職先企業を考える際に役立つ情報を掲載している。 引き続き加盟校や県内企業と連携して、協力企業の開拓及び学生に有益な情報の効果的な発信の仕組みの構築について、引き続き取り組んで頂きたい。	企業情報の追加掲載、2種類以上	2種類の情報を追加掲載 （2023年11月末時点）	情報公開企業・団体数120社以上	153社の企業・団体情報を掲載 （2023年11月末時点）
事業報告③	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	4	4	当該事業は今年度より、キャリア委員会事業として実施している。「ひょうご留学生インターンシップ」は、日本で就職を希望する留学生および留学生を採用したい地元企業にとって過去15年間にわたり成果を出してきたプログラムであることから、 来期も、大学・企業・コンソの役割分担を整理しながら当プログラムの持続可能な形態を検討し、推進して頂きたい。 また、「外国人向け合同企業説明会」は、日本での就職を希望する留学生と地元企業双方が出会える貴重な機会となっており、 内定に繋がる成果を出している。来期も加盟校および県内の経済団体や行政機関との連携を深めながら実施して頂きたい。	参加留学生数：500名以上	参加留学生数：855名		日本企業・文化理解が深まった： 参加学生の100%
事業報告④	外国人留学生採用ワンストップ支援事業	4	4	初年度は、コンソの従来の留学生の就職支援をベースに、県内の経済団体や国際交流機関や行政との連携を強化し、支援窓口としての基礎を築くと共に、窓口対応以外にも、個別企業説明会等、留学生と企業がより就職・採用に繋がる支援も開始した。 次年度は強いネットワークを活用して就職実績に繋げることを期待する。	参加者数：50名以上	101名 134社 （2023年10月末時点）		86.9%以上の日本企業文化理解

⑤ 高大連携委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」	3	4	県下大学と高校の高大連携に関する課題を共有し、具体的な課題についての意見交換を継続できていることは評価できる。引き続き、高大一貫した教育の提供、人材育成の取組を推進してほしい。	意見交換会等の実施/年1回以上	12/11開催予定 (計画通りに進めば達成予定)	各年参加校数20校以上	12/11開催予定 (計画通りに進めば達成予定)
事業報告②	加盟校の魅力を紹介発信	3	4	高大連携に関する情報共有の一環として、ホームページの掲出方法やデザインを改善し、生徒が加盟校の情報をより分かりやすく得られるようにした点は評価できる。今後は、高校並びに高校生に情報が伝わりやすい仕組みや方法を検討の上、次年度以降も継続頂きたい。	大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページへの情報掲載 アンケート等の実施/年1回以上	高大連携委員会アンケート実施 (2023年5月19日～26日) に基づき、 ホームページに随時情報掲載	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上	年度内に提供予定

⑥ FD・SD委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	4	4	約半年間で活動指標・達成目標ともに達成されており、加盟校にも認知が広がっていることは評価できる。実施内容に関するアンケート結果から、今後も継続的に加盟校のニーズを踏まえたFD・SDへの取組みを進めていきたい。	参加者数100人以上/年	1,176名	各年セミナー5件以上	13件 (2023年10月31日現在)
事業報告②	<FD・SD情報交換会、セミナー等の開催> 大学教育等に関する講演会等の開催	4	4	大学運営に関わるテーマなど、加盟校が共通に抱える課題は、大学単独で行うよりもコンソーシアムで実施する意義があると考えられる。今後も継続して時宜を得たテーマで講演会等を実施頂きたい。加えて、加盟校教職員の交流促進も期待する。	開催数：3回以上/年	1回 (2023年9月6日開催)	各年参加者数50名以上	130名 (内加盟校75名)
事業報告③	<FD・SD情報交換会、セミナー等の開催> 内部質保証システム等に関するFD・SDセミナー等の開催	4	4	認証評価等において、近年内部質保証が重視されている一方で、加盟校においては体制作りから実質化まで、苦慮されている現状があると思われる。単発のセミナー開催にとどまらず、継続的に加盟校に役立つセミナーの開催や共同研修等、教職員間の交流促進を図る仕組みを検討頂きたい。	開催数：3回以上/年	2回 (2024年2月～3月開催予定・ 計画通りに進めば達成予定)	各年参加者数50名以上	2024年2月～3月開催予定 (計画通りに進めば達成予定)

⑦ 企画運営委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	・リカレント教育の普及促進に向けた取組 ・加盟校のリカレント教育に関する情報発信	4	4	兵庫県からも県内大学におけるリカレント教育の取組促進がコンソに対して期待されていることから、本取組を継続していることは評価できる。先進事例や課題を共有し、加盟校のリカレント教育の普及に寄与することを期待する。	大学・企業関係者による 講演・意見交換会 (年1回以上)	2024年3月開催予定 (計画通りに進めば達成予定)	・各年参加者数50名以上 ・各年10校以上	2024年3月開催予定 (計画通りに進めば達成予定)
事業報告②	・大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 ・緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	4	4	企画運営委員会及び、ひょうご産官学連携協議会等での懇談については次年度以降も定期的に実施し、産官学連携の関係強化、及び事務局体制について意見交換会を行って頂きたい。 企業課題解決プログラムに関しては、産学連携を促進し、企業と教育機関との協力関係を構築する機会となり、学生の実践的学びと県内企業理解につながる為、次年度も継続して頂きたい。 緊急時リスクマネジメント体制の構築は、定期的な見直しと改善を行い、新たな課題や変更に対応できるよう検討を重ねて頂きたい。	大学・企業関係者による 講演・意見交換会 (年1回以上)	・企画運営委員会 (原則、月1回開催) 9回実施済 年度内計12回実施予定 ・産官学連携協議会：1回実施 ・産業界との意見交換会：2回実施予定 (11月末時点)	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充と、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築	・企画運営委員会、産官学連携協議会、産業界との協議、意見交換及び、企業課題解決プログラムの実施に更なる連携拡充 ・「リスクに関する情報連絡会」を開催し、具体的な運用体制についての議論を実施
事業報告③	加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	4	4	事務局運営の効率化、プロセスの可視化、情報管理や共有に関しては、継続的な評価と改善を行い、最適な効率化を図る必要があるため、継続して取組みブラッシュアップして頂きたい。アンケート等で導き出された「コンソの役割」(①PR・プロモーション ②学内業務の効率化 ③外部資金の調達)については、次年度以降、適宜、企画運営委員会、各事業委員会等で協議し、実施に向けて改善して頂きたい。	企画運営委員会等における 懇談の実施 (年10回以上)	・企画運営委員会 (原則、月1回開催) 9回実施済 年度内計12回実施予定	加盟校の共通課題に協働して 取り組む事業運営体制の構築	事業運営体制の効率化、 情報管理、共有のための媒体の整備 コンソの役割の明確化

<自己評価基準>

対到達目標：4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った

対継続性：4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき

2024年度 事業委員会・共通管理 予算について

※兵庫県や日本学生支援機構等、他機関からの受託事業収支は含まず。

※コンソの会費収入、私立大学等改革総合支援事業における特別分担金収入のみ記載。

※受託事業収支を含む予算案は、第7回理事会(3/28)開催時にご審議頂く予定。

(単位：千円)

	区分	2023年度予算	2024年度予算案	備考
(A)収入	会費収入	20,500	20,500	概算収入想定
	特別会費収入 (タイプ5、3)	17,280	19,240	タイプ5 特別分担金 (I) ・タイプ3PF型
	収入	37,780	39,740	
(B)支出	国際交流事業	50	50	6事業委員会予算枠
	学生交流事業	1,250	1,250	
	教育連携事業	600	600	
	キャリア事業	1,000	1,600	
	高大連携事業	500	500	
	FD・SD事業	500	500	
	企画運営委員会事業 (リカレント/連携事業)	100	1,500	
	(イ) 事業予算	4,000	6,000	(A)
	(ロ) 各事業委員会事務経費	600	600	
	事業予算計 (イ) + (ロ)	4,600	6,600	
	①事務局職員人件費	29,800	29,800	(B)
	②共通管理費	3,300	3,300	通信費、光熱費、諸会費、土業関係等
管理・共通運営費等 ①+②	33,100	33,100		
支出	37,700	39,700		
(A)-(B)当期収支差額		80	40	

(A) 2024年度事業委員会の事業計画策定に当たり、事業規模 (予算) は2023年度は、キャリア委員会60万(留学生インターンシップ関連費用)、企画運営委員会140万 (広報強化のための費用) 増額

(B) 2024年度事業委員会の事業計画策定に当たり、事務局人件費 (予算) は2023年度と同規模とする。

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸
2023年度 第3回 キャリア委員会
議事録

開催日時：2023年12月1日（金）14:00～14:50

開催場所：起業プラザひょうご

兵庫県神戸市中央区浪花町56 三井住友銀行神戸本部ビル2F

出席校（委員、代理）：18校

◎関西学院大学・聖和短期大学（松本、山口）、
○甲南女子大学（深澤）、○神戸国際大学（鈴木）、
芦屋大学（中村）、大手前大学・大手前短期大学（久保）、関西国際大学（高橋）、甲南大学（天羽）、
神戸大学（田中、安藤）、神戸海星女子学院大学（田辺）、神戸学院大学（住本）、
神戸市外国語大学（浅井）、神戸親和大学（實安）、神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部（木村）、
姫路獨協大学（水谷）、兵庫県立大学（三嶋、片山）、
※◎は委員長校、○は副委員長校 ※敬称略

欠席校：7校

○関西福祉大学、神戸松蔭女子学院大学、園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部、
兵庫大学・兵庫大学短期大学部、流通科学大学

事務局：関西学院大学（永野）

大学コンソーシアムひょうご神戸（山崎、佐藤、小畑、山本、大濱、足立、浅野）

I. 協議事項

1. 情報公開する企業100社（2023年度分1社）の選定及び公開状況について（資料1）
2. 2023年度キャリア委員会事業自己評価について（資料2）
 - ① 大学間連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
 - ② 県内企業・大学等の魅力を情報発信
 - ③ 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
(ひょうご留学生インターンシップ・合同企業説明会)
 - ④ 外国人留学生採用ワンストップ支援事業

II. 懇談事項

1. 大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について（資料3）
2. 尼崎市からのR6年度インターンシップ等推進事業（資料4）
3. 来期の留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムについて（資料5）

III. 連絡・調整事項

1. 2023年度のキャリア委員会開催予定と主な議題について
第4回委員会 2月：2024年度 事業計画・予算（案）
第5回委員会 3月：2023年度 事業報告・決算（案）

<資料一覧>

資料1：2023年度 地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト 掲載情報一覧（案）

資料2-1：【理事長名依頼状】2023事業計画の「自己評価」の作成依頼

資料2-2：2023年度 キャリア委員会事業 自己評価（案）～

資料3：大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について

資料4：R6年度インターンシップ等推進事業について

資料5：2024年度 ひょうご留学生インターンシップ 概要について

I. 協議事項

1. 情報公開する企業 100 社（2023 年度分 1 社）の選定及び公開状況について

事務局より資料 1 に基づいて、情報公開する企業 100 社（2023 年度分 1 社）の選定及び公開状況についての説明があり、情報公開する企業 100 社（2023 年度分 1 社）の選定及び公開状況について原案通り承認された。なお、同企業一覧に 2023 年度新たにミモザ企業と地域未来牽引企業の蘭を追加した旨の説明もあった。

2. 2023 年度キャリア委員会事業自己評価について

- ① 大学間連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト【①取組 1】
- ② 県内企業・大学等の魅力を情報発信【①取組 2】
- ③ 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
(ひょうご留学生インターンシップ・合同企業説明会)【④取組 1-1】
- ④ 外国人留学生採用ワンストップ支援事業【④取組 1-2】

事務局より、資料 2-1 及び 2-2 に基づき説明があり、上記の各取組の自己評価について、原案通り承認された。

II. 懇談事項

1. 大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について

山崎事務局長より、資料 3 に基づき、コンソの在り方、どのような運営が良いのかについて、企画運営委員会において検討を進めてきた旨の説明があった。また、加盟各校の教職員に依頼したアンケート結果に基づき、コンソの認知度、コンソ参画のメリット、コンソへの期待について説明があった。なお、資料 3 の最終ページ中、1. ①学生による SNS アカウント運用については、国際交流委員会が、1.②共同開講については、教育連携委員会が、2.①FD・SD の共通化については、FD・SD 委員会が、それぞれ検討を進めることになった旨の説明があった。

関西学院大学永野課長より、コンソ加盟のメリットとしては、一大学では出来ない事業を共に行うことであり、自大学にはない専攻の学生との交流や一大学では困難な留学生支援、各大学が協力して FD・SD 研修を行うなどコンソ全体としてのメリットを打ち出していくべきではないかとの説明があった。

松本委員長より、本キャリア委員会に出席するメリットとしては、情報共有の場にするると共に知識創造の場にしたいと考えている旨の説明があった。

<主な意見等>

・本件に関して、キャリア委員会としての意見を出すべきなのか、あるいは全体としての意見を出すべきなのか。
⇒キャリア委員会として大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値を高めるための意見をいただきたい。

2. 尼崎市からの R6 年度インターンシップ等推進事業

山崎事務局長より、資料 4 に基づき、2. 尼崎市からの R6 年度インターンシップ等推進事業の受託について説明があった。コンソの役割は、①参加者 15 名を確保するための広報活動、②15 名を超えた場合の調整、③トラブルが生じた際のクレーム処理のために大学と企業、大学と尼崎市を繋ぐ、以上の 3 点である旨の説明があった。

<主な意見等>

・留学生も参加対象者なのか。
→日本人学生がメインであるが留学生も対象者である。

3. 来期の留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムについて

事務局より資料 5 に基づいて、2024 年度ひょうご留学生インターンシップについて説明があった。本年度は、兵庫県のシステムを使用した。次年度は大学コンソのシステム (Dropbox) を使用し、受入企業への事前訪問を復活させること。事前訪問を経て正式に実習受け入れが確定することとするため、所属大学には、当該学生が合格できるよう「誓約書」「目標設定シート」等のご指導を頂きたい。また企業・実習生・大学との連携が深まることで実習効果が高まることを目指すために、事前訪問の際には是非大学関係者の同行をお願いしたい。留学生の資質向上を図るために学内セミナー参加の奨励と保険加入についても各大学にて確認いただきたい。情報共有については、従来のようにメールでの案内ではなく、コンソのシステム (Dropbox) を見に行ってくださいことなる旨の説明があった。

<主な意見等>

・共有される情報について、他大学の学生の情報も共有されるのか。
→各大学の留学生の情報を Dropbox に格納することになるので、自大学の情報のみを共有できる。
ただ、業務の効率化、ならびに情報共有の場として、他大学の状況を共有することで知識創造に繋がる仕組みに、今後も検討を継続していきたいと考えている。

Ⅲ. 連絡・調整事項

1. 2023年度のキャリア委員会開催予定と主な議題について

事務局より2023年度の第4回および第5回キャリア委員会開催予定と主な議題について案内があった。

以上をもって、第3回キャリア委員会の議事は終了した。

以上